

contents

- 2 特集1 広島修道大学の教職課程を紹介!
- 6 特集2 広島修道大学の資格取得を紹介!
- 8 研究室の扉
- 10 ゼミ訪問
- 11 修大人
- 12 卒業生からの便り
- 13 Topics
人間環境学部開設20周年記念事業を開催しました(10/8)
JA広島市から広島県産「バックごはん」約10,000個のご寄附をいただきました(12/2)
人文科学研究科心理学専攻の学生が公認心理師試験に合格しました(8/26)
- 14 Campus News
- 18 Circle Information
- 20 刊行物
- 21 Event Guide
- 22 Campus Photo Message / アンケート



●表紙撮影場所:教職課程演習室(7303教室)
表紙は、デジタル教科書の入ったタブレットの画面をホワイトボードに投影して、小学校算数の模擬授業を行っている様子です。教職課程の自習や模擬授業等の演習のために使用していた1号館の教職課程学習室を7号館に移設し、授業、グループ学習や模擬授業を行う教職課程演習室と教職課程学習室を新たに設置しました。教職課程演習室には、デジタル教科書等のICT機器を導入しており、学生は教育現場に行く前に、ICT機器を使用した授業の練習を行うことができます。



坂本 菜々美さん
人文学部教育学科4年生
(広島県立砥園北高校出身)
広島県・市小学校教諭
採用試験合格



ささき 鷗直哉さん
人文学部英語英文学科4年生
(広島県立尾道東高校出身)
広島県・市中学校教諭(英語)
採用試験合格

「TRUTH」—そのネーミングの由来—

Since 1972

Truth 真理・真実・真相 大学広報誌のめざすべき、
Rapidly 速く 真理・真実・真相をできるだけ速く、ひろく、しかも思慮深く、
Universally ひろく 誠実に伝えることをモットーとして、ここに「TRUTH」
Thoughtfully 思慮深く が生まれました。
Honestly 誠実に

道を修める

「修道」という名は、古典の一つ『中庸』の「天命之謂性 率性之謂道 修道之謂教」(天の命ずるこれを性といい、性に率うこれを道といい、道を修めるこれを教えという)に由来します。この意味は「人間にはそれぞれの天性がある。天性を伸ばすのが人間の道である。その道をしっかりとしたものにするのが教育である。」という意味に解されます。「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材の養成」を理念、教育目標として掲げ、その精神をもとに、広島修道大学はさらに未来をめざします。



- 特集
- ① 広島修道大学の教職課程を紹介!
 - ② 広島修道大学の資格取得を紹介!



- 研究室の扉
- ゼミ訪問
- 修大人
- 卒業生からの便り
- Topics
- Campus News
- Circle Information
- 刊行物
- Event Guide
- Campus Photo Message
- アンケート

広報誌「TRUTH」は、春・夏・秋・冬と年に4回発行し、保証人の皆さまにもお送りします。本誌へのご意見などありましたら、下記までお寄せください。本誌の記事・写真などの無断転載を禁じます。



広島修道大学

学長室総合企画課

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1
TEL 082-830-1102 FAX 082-830-1324
WEBサイト <https://www.shudo-u.ac.jp/>



●TRUTHのバックナンバーは
右の二次元バーコードから
ご覧ください。



大学基準協会
大学評価 認定マーク

特集 1 広島修道大学の教職課程を紹介!

本学では、人文学部教育学科以外の学部・学科においても教職課程を履修することで教育職員免許状(以下、「教員免許」)が取得可能です。

今回は、教員免許取得に向けた、大学の制度やサポート、関連施設などの情報をお伝えします。



教員採用試験対策の模擬授業

「保育内容(人間関係)」の授業

「保育内容(人間関係)」の授業

「図画工作科教育法」作品

教育学科主催の子育て支援イベント

教職課程委員長より～本学の教職課程について～

本学では、副学長を委員長とする「教職課程委員会」を設置し、教職課程の円滑な運営とその充実・改善に取り組んでいます。

本学の教職課程の特徴の一つは、幼稚園教諭から高等学校教諭まで幅広い教員免許取得の教育課程が編成され、複数の教員免許が取得可能であることです。例えば、教育学科では幼稚園と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校のように学校教育を系統的に捉え、基礎免許状(幼稚園、小学校、中学校又は高等学校いずれかの教員免許)の取得に加えて、特別支援学校の教員免許を取得できるようにすることで、学生が幅広い見方・考え方を身に付けることを可能にしています。

また、今年度から、教職を志す学生が自主的・主体的に集い、教育についての議論を交わすことができる教職課程専用の学習室や演習室を整備し、さらなる学生の学びをサポートしています。

本学の教員養成教育では、教育に関する議論を通して、協働性を身に付け、多様な考え方に触れながら人間的な成長をめざす学生を支援しています。



副学長・教職課程委員長 羅 星仁

[本学の教職課程の特徴]

1 継続的に学校現場を体験する「学校教育インターンシップ」

教育実習前年度の1年間をかけて、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の各学校に週1日程度通い、教員の補助などを行うことによって、実際の学校現場を継続的に体験します。広島・呉・廿日市の各市教育委員会および本学の附属校と提携して実施しています。本インターンシップを体験したうえで、教育実習を経験することで、実習の意味合いがより深まります。

2 教育委員会との連携事業

2021年度から、広島県教育委員会と連携し「広島県教師養成塾」の出前講座として教職課程課外講座を開催しています。学年に応じて、教員の魅力や学校現場の実習での心構え、教員としてのマナー、学校現場における問題への対応や接遇、実践演習を中心とした教員のあり方等について学びます。教育委員会の方から直接、実例を含めて学ぶことで、実践的指導力の基礎を身に着けます。

3 採用試験合格報告会を実施

採用試験に合格した4年生が、小学校・中学校等の各学校種・科目毎のグループに分かれ、後輩に向けて採用試験に向けた勉強方法やどのような参考書を使用したか、都道府県別の傾向などについて報告します。

小人数グループに分かれて発表することで、これから採用試験を受ける学生も合格者に気軽に質問ができ、具体的な試験対策を知るだけでなく、教員免許取得へのモチベーションを高める機会となります。



4 幅広い教員免許を取得可能

本学では、学部・学科の学びに応じた教員免許を取得することができます。人文学部英語英文学科では中学校・高等学校(英語)、商学部や経済科学部経済情報学科では高等学校(商業)、健康科学部健康栄養学科では栄養教諭など、多様な免許種を取得できます。

また、人文学部教育学科では、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員免許に加え、保育士、社会教育主事(任用資格)の資格も取得可能です。2年次からのコース制を設け、複数免許(資格)の取得を推奨しています。特別支援学校の免許は、基礎免許を取得することを条件にコースに関わらず特別支援教育に関する科目の修得で取得可能であり、教育的ニーズの高い教員養成に取り組んでいます。

取得できる免許種は学部・学科によって異なりますので、本学WEBサイトをご確認ください。

取得できる資格・免許状はこちら
<https://www.shudo-u.ac.jp/lifesupport/license/qualifications.html>



■教職課程実習等スケジュール

取得希望 免許種	2年次												3年次												4年次												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
幼稚園・ 小学校教諭																																					
中学校・ 高等学校・ 特別支援学校 教諭																																					
栄養教諭																																					
共通																																					

・「教職ガイダンス」等の各種ガイダンスは、1年次の4月から行われます。
 ※1「介護等の体験」は、上記期間内で社会福祉施設等連続した5日間および特別支援学校2日間。
 ※2 中学校教諭免許希望者が対象。

【充実の施設】

教員免許取得や教員採用試験に向けて学習するためのさまざまな施設を整備しています。

小学校課程実習棟



小学校の家庭科や生活科などの教育内容や教育方法を実践的に身につける授業を行う、小学校課程専用の実習棟になっています。

ピアノ実習室 (音楽実習棟、9号館2階)



アップライトピアノを設置した個室が10室あり、幼稚園や小学校の教員採用試験でのピアノ実技に向けた練習を集中して行えます。

保育実習室 (9号館2階)



保育者が乳幼児からどのように見えるか客観的に確認できるよう壁一面が鏡張りになっており、絵本の読み聞かせや身体表現などの演習が行われます。

図工室 (9号館2階)



机や椅子など小学校の図工室と同様の環境を備え、小学校、幼稚園などで必要な造形教育の知識・技能を身につけます。

機能訓練室・観察室 (9号館2階)



両部屋の間マジックミラーが設置されており、身体・知的障がい測定評価、模擬保育等、特別支援学校教育に関する学びを行うことができます。

教職課程学習室、 教職課程演習室 (7号館3階)



教職課程専用の学習室・演習室です。教員採用試験に向けた自習や模擬授業などができるようデジタル教科書入りタブレットなども設置しています。

【採用実績】

広島修道大学で教員免許を取得した学生が毎年50名以上採用され、全国各地で教員として働いています。

■2018年～2022年度(5年間)累計
教員就職者(現役のみ) 302名

■令和5年度(2023年度)公立学校教員採用試験結果

合格者数(現役・既卒総計)

58名

都道府県・市	校種(教科)	人数	都道府県・市	校種(教科)	人数
広島県・市	小学校	31	広島県・市	特別支援学校(小学部)	3
	中学校(社会)	4		特別支援学校(中学部社会)	3
	中学校(国語)	1		特別支援学校(高等部英語)	1
	中学校(英語)	4	山口県	中学校(社会)	1
	高等学校(政治経済)	1	愛媛県	小学校	2
	高等学校(商業)	1	岡山県	中学校(社会)	1
	高等学校(英語)	4	神戸市	中学校(英語)	1
合計					58

教員採用試験合格学生の声

広島県・市小学校教諭採用試験合格



人文学部教育学科4年
 馬場 真樹也(まば まきや)さん
 (広島県立福山明王台高校出身)

私が教員採用試験に合格できたのは、教員をめざす仲間たちと一緒に勉強し、アドバイスしあえる環境があったことが大きいと感じます。特に、2次試験前には、教職課程学習室に毎日10～20人くらいが集まって模擬授業を行い、試験に向けて取り組みました。また、教職課程の先生方もとても親身で、先生からのアドバイスをいただいて、その内容を共有し合えたことも力になりました。

私は、両親が教員であることや、小学生の時に尊敬できる先生と出会ったことがきっかけで教員を志望し、子どもたちに「学校に行きたい」と思わせる先生をめざしています。1年次に大学を通して申し込んだ広島県教師養成塾(広島県教育委員会主催)では、「先生が楽しんで授業をすれば、子どもたちも楽しくなる」と教えてもらいました。

教員を志す仲間と支え合い、切磋琢磨することで、教員採用試験に向けた勉強も楽しく感じました。施設や環境が整っているのも、これから教員採用試験合格をめざす皆さんも、一緒に努力できる仲間を積極的に作ってください。

山口県中学校教諭(社会)採用試験合格



人文学部教育学科4年
 瀬戸崎 恭輔(せとぎき きょうすけ)さん
 (山口県立小野田高校出身)

修大の教職課程は、施設や教材などの設備面と、支援体制の両方が整っており、教員採用試験に向けた勉強に集中することができて良かったです。

私は、中学生の時に学校で行った進路研究で、「教師は大変だけど生徒の成長を見られて、やりがいのある仕事」と先生から聞き、地元の山口県に戻って教師になることをめざしました。教職課程学習室・演習室には、同じように広島県以外での採用をめざす人も集まりますので、各県の傾向などの情報共有や意見交換など、対策をしっかりとできました。また、実際に使用されている最新の教科書や教具などが備えられ、実際の授業を想定した学びを行えました。

支援の仕組みとしても、2次試験対策として教職課程の先生方が、模擬面接や模擬授業を見てくださるサポート制度があり、積極的に活用しました。自分では気づかない部分のアドバイスをもらえ、より成長したと感じています。

夢に向かう努力は大変なこともありますが、みなさんも環境や制度などを積極的に活用して夢に向かって頑張ってください。

特集2 広島修道大学の資格取得を紹介!

特集1で紹介した教員免許以外にも、本学ではさまざまな資格取得が可能です。学部・学科の単位を修得することで取得できる資格や、大学の各種資格取得支援について紹介します。

1 学科の授業で取得できる資格(教員免許を除く)

資格	取得可能な学部・学科
保育士	人文学部教育学科
公認心理師(国家試験受験資格) ^{※1}	健康科学部心理学科
認定心理士 ^{※2}	健康科学部心理学科
認定心理士(心理調査) ^{※2}	健康科学部心理学科
児童心理司(任用資格) ^{※3}	健康科学部心理学科
栄養士	健康科学部健康栄養学科
管理栄養士(国家試験受験資格) ^{※4}	健康科学部健康栄養学科
食品衛生管理者(任用資格)	健康科学部健康栄養学科
食品衛生監視員(任用資格)	健康科学部健康栄養学科
社会教育士(称号)	人文学部人間関係学科、人文学部教育学科、国際コミュニティ学部地域行政学科
社会教育主事(任用資格) ^{※3}	人文学部人間関係学科、人文学部教育学科、国際コミュニティ学部地域行政学科
児童福祉司(基礎資格) ^{※3}	人文学部人間関係学科、人文学部教育学科、健康科学部心理学科

※1:学部卒業の上、大学院もしくは施行規則で定める施設・期間の実務経験を修了後に受験資格を得ることができます。※2:卒業後に資格申請し、認定される必要があります。※3:資格の取得には1年以上の実務経験が必要です。※4:資格の取得には管理栄養士国家試験の合格が必要です。

2 資格課程

本学が開設している、教職課程を除く資格課程を紹介します。

■保育士課程

保育士は、保育所、認定こども園、乳児院などにおいて、乳幼児や児童の保育及び保護者に対する指導を行う職員として働くことができます。保育士課程では、現代の保育・教育と人間形成に関わる諸問題に対応できる保育観・教育観と総合的な保育実践力を有した保育士を養成します。資格取得希望者には、所定科目の修得と小学校との接続を意識した科目の履修を義務づけ、併せて、幼稚園教諭一種免許状の取得も奨励しています。

■社会教育主事課程

社会教育主事とは、地方公共団体の教育委員会の事務局におかれる職員のうち、社会教育の指導、行政の中心的存在として、社会教育を行う人に専門的・技術的な助言と指導を与えることを任務とする専門職員のことをいいます。資格の取得には、定められた社会教育に関する単位を24単位以上修得し、1年以上の実務経験が必要になります。

■公認心理師課程

公認心理師は、保健医療、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働などいずれの心理臨床分野でも通用する一つの国家資格です。学部において、受験資格に必要な所定科目の単位を修得したうえで、「大学院で必要な科目を修得し修了する」あるいは「認定された施設で心理関係の仕事に2年以上従事する」ことで、受験資格を得ることができます。本学の大学院では、専門的な科目の履修と学内の臨床心理相談センター、学外専門機関における実習を通して、国家資格取得のサポートをします。

■管理栄養士・栄養士課程

管理栄養士は、厚生労働大臣の免許を受けた国家資格で、栄養士免許を取得したうえで、国家試験に合格する必要があります。管理栄養士は傷病者に対する療養のために必要な栄養の指導など、高度な専門的知識と技術が要求されます。栄養士は、主に健康な人々を対象に栄養指導や給食の運営を行います。栄養士は、都道府県知事の免許を受けた資格で、指定された単位を全て修得することで免許を取得できます。健康栄養学科は栄養士資格の取得が卒業要件です。

■食品衛生管理者・食品衛生監視員課程

食品衛生管理者は、食品、添加物を製造・加工する施設において、食品衛生法を遵守するよう衛生管理を行う者です。食品衛生監視員は、国や自治体の職員(公務員)として働き、飲食店や食品製造等の施設が許可基準に合致しているかの確認や指導等を行います。いずれも任用資格であるため、本課程の定める所定の単位を全て修得した後、当該職務に任用・任命されて効力を発揮します。

3 各種資格取得支援

[キャリア支援講座]

自分の将来に役立つ資格を取りたいという学生のため「パソコン系」、「語学系」、「ライセンス系」の3系統に体系分けしたキャリア支援講座を開講しています。

■パソコン系

ICT(情報通信技術)やDX(デジタル変革)など情報技術が発展し、パソコンスキルは社会において必要なスキルになっています。大学時代に資格を取得することで、社会に出て働く際にも強みになります。また、短期間で集中的に学ぶことができます。

(講座例) ●サーティファイ Excel 1・2級、Word 1・2級 ●ITパスポート ●MOS Word、MOS Excel(一般レベル) など

■語学系

グローバル化が進む時代において、英語など外国語の語学力が高く求められるようになり、就職活動時には、履歴書やエントリーシートにTOEICのスコア記入を求められるケースが増えています。

語学力向上のための講座のほか、受験料を大学が負担し、無料でTOEIC-IP試験を学内受験できる制度があります。

(講座例) ●TOEIC Listening & Reading Test 500点突破対策講座 など

■ライセンス系

めざす進路によって、資格を取得していることが推奨されるものや、取得していることで就職活動の際にアピールできるものなどがあります。国家資格から民間の資格まで、自分の進路にとって必要な資格を選択して受講することができます。

(講座例) ●宅地建物取引士 ●日商簿記検定2・3級 ●FP技能士2・3級 ●秘書技能検定準1・2級 など

キャリア支援講座のメリット

①学内で受講ができる

学内で、平日の夕方や夏季・春季休暇などに行われるため、利便性高く受講できます。

②リーズナブルな受講料

有料の講座ですが、学内の教室や設備を使用するため、学外の同様の講座と比べリーズナブルな価格設定になっています。

③豊富な講座数

さまざまな種類の講座を用意していますので、自身のめざす進路などに合わせて選択できます。

[表彰・スカラシップ]

在学中に国家資格などを取得した学生を表彰する制度やスカラシップ制度を設けています。

■資格取得学生表彰

国家資格などを取得した学生に対し、国家資格等の難易度により、最優秀賞(表彰状と記念品)、優秀賞(表彰状と記念品)、努力賞(表彰状)を表彰します。

対象となる資格は、WEBサイトをご覧ください。

詳しくはこちら

<https://www.shudo-u.ac.jp/lifesupport/award/qualification.html>



■資格取得スカラシップ

本学学部在籍する正規学生で、資格取得学生表彰者のうち、とくに難易度の高い資格取得者に対し、最優秀賞は5万円、優秀賞は3万円の奨学金を給付します。

キャリア支援講座、資格取得学生表彰、資格取得スカラシップの詳細については、キャリアセンターまでお問い合わせください。

研究室の扉

宮川先生
「歴史の中の科学と災害」を語る



科学史と災害史

「科学史」という言葉を聞いたことがありますか？ 字義通りだと「科学の歴史」ですが、では「科学の歴史」とはどういうものなのでしょう？ 「災害史」はどうでしょうか？ これも字面を見れば「災害の歴史」で、災害への関心が高まっている昨今、耳にしたことがあるという人もいます。

過去の科学や災害について、歴史の教科書では過去の著名人やきわめて甚大な災害がごく簡略に触れられる程度です。高校までに学ぶ歴史とは違い、科学史も災害史も「歴史学」の一分野であり、過去に誰が何をしたのか、何があったのか「事実を知る」ことだけを目的としていません。その事実がどのような意味をもつのか考えることが歴史学です。科学史や災害史研究は、科学研究の変遷や自然観の形成、それらの当時の社会における意味、後の世代に与えた影響、また多様な災害の要因や社会的影響、当時の社会状況との関連性などを分析します。科学は社会の中で

人の手によって営まれるものであり、災害は人間社会に無視できない影響や変化をもたらすことがあります。私たちの先達は自然をどのように理解し、何を探求の対象として捉え、災害にどう向き合ってきたのでしょうか。歴史学は様々な史資料から過去のできごとを掘り起こし、そのできごとが社会においてもつ意味を読み解き、それが現代社会を生きる私たちに何を示すのか探る試みです。私の最近の研究からその一端を見てみましょう。

気象学史 in 広島

科学史と一口にいても、科学のあらゆる分野（物理学や化学、天文学、医学、生物学など）にそれぞれの歴史があります。私が専門とするのは近代日本・東アジアの気象学史です。近代というのはだいたい19世紀中ごろから20世紀中ごろまでとされることが多いです。私は広島修道大学への着任をきっかけに、広島の歴史について調べてみようという気象や災害に関する史資料を探

し始めたところ、興味深い史料に出会いました。それは広島測候所（現地方気象台）の設立に関する書類綴りや、測候所の初期の活動に関する貴重史料で、広島市江波山気象館（中区）に保存されています。史料を読み進めると、1879年（明治12年）1月に設立されるまでの経緯やその後の活動内容など、ほとんど誰にも知られていなかった内容が記されていました。広島測候所は県営の測候所としては日本で最も古いのですが、広島を含め地方の気象観測施設が初期の段階でどのように運営され、どのように事業展開していたのか不明な点は今も多くあります。史料群からは県令（知事）が測候所誘致に熱心だったこと、初期の観測員は短期の気象教育・訓練を受けた地元の下級士族が務めたこと、県内の村役場などに観測を依頼してデータを広く集めていたことなどがわかりました。しかしなぜ県令が気象観測に強い関心をもっていたのか、士族出身者の選抜基準は何だったのか、なぜ村役場は観測に協力的だったのかなど、まだわからない点

も残っており、今後の課題です。それでもこの研究から言えるのは、いわゆる近代西洋科学というものが日本に導入されたとき、一部のエリートだけが科学に関する活動を担っていたのではなく多くの一般人も関わっていたこと、その過程で彼らは科学という新しい文化に触れたこと、その経験は文化としての科学が日本社会に普及していく端緒となったであろうということです。



広島県内の災害報告のはがき『諸県暴風報告綴込』（広島市江波山気象館所蔵）

災害史 in 広島

過去に広島で発生した災害についても調査を進めました。明治から昭和にかけて広島は水害の多い街で、昭和前期まで数年に一度という頻度で大小の被害が出ていました。特に被害が甚大だったのが1945年（昭和20年）9月の枕崎台風です。そう、原爆投下から約1ヶ月後に猛烈な台風が広島を襲ったのです。原爆の惨禍について知らない人はいませんが、昭和三大台風にも数えられる枕崎台風については意外にも知らない人が多いようです。

9月17日に西日本を襲ったこの台風による死者・行方不明者は全国で3,756名、そのうち広島県だけで2,012名を占めました。なぜ犠牲者の半数以上が広島で発生したのでしょうか。台風の規模・強さは猛烈で、鹿児島県枕崎上陸時点で中心気圧916hPa、最大風速は60m/秒以上を記録し、広島上陸時でもそれぞれ948hPa、45m/秒以上でした。近年、台風や大雨の際に「何十年に一度」「百年に一度」といった表現をよく耳にしますが、枕崎台風はまさにそういう台風です。しかし台風の

猛烈さだけでは広島に突出した被害規模を説明できません。他にどのような要因があったのか。それを知るには少なくとも明治初期にまで遡ってみる必要がありました。

上述のように広島は特に水害の多い街でした。明治に入ると殖産興業のかけ声の下に開発が進み、人口も急増して大量の木材が必要とされたことに加え、江戸時代まで厳格だった山林伐採に関する規則は遵守されず、広島周辺の山々は荒れました。山の保水力が低下したことで大小いくつもの河川が流れる広島で水害は増えました。1930年代後半には戦時体制に突入してあらゆる物資が動員対象となり、従来以上に木材需要が高まって山林の荒廃はさらに進みます。治水事業計画（築堤など）も戦時体制下で中断され、街の防災機能は低いままでした。そうした状況下で原爆が投下されたのです。街のあらゆるインフラは徹底的に破壊され、生き延びた人びとも日々の暮らしに精一杯で防災対策など進められるはずもなく、接近する台風情報を入手するすべもありませんでした。災害に対して完全に無防備だったのです。広島市街は水浸しになり、各地で氾濫や土砂崩れが発生し、多くの人命も奪われました。こうして広島は短期間に大きな災禍を連続して経験することになりました。

以上から指摘できるのは、大きな災害の背景には中長期的に複数の要因が蓄積されていること、災害が連続すると（これを複合災害といいます）被害



1945年9月17日の天気図（気象庁図書館所蔵）

は甚大となり、その実態の把握も難しくなることなどです。複合災害はこのときだけのものではなく、「3.11」（地震＋原発事故）もそうでしたし、現今のコロナ禍で例えば大きな地震や台風が襲えばそれは複合災害となり、被害拡大の可能性が高まるわけです。

歴史学を学ぶ・楽しむ

過去のできごとを「読み解く」ことは容易ではありません。実際に起こったあるできごとが、なぜ、どのようにしてようになったのか問いを立て、種々の史資料を収集し、様々な角度から分析して状況を再構成し、さらにそこから意味を抽出する作業です。根気と読解力と想像力が求められますが、歴史学は私たちの現在地を知り、次なる一步を踏み出すための道標を探る学問です。

ただ、過去から「教訓」を得るのも歴史学の目的の一つですが、私たちとは（同じ国の人であろうと）生活様式も思考回路も異なる過去の人びとがなぜそう考え、行動したのかを探求するのは知的好奇心を強く刺激します。私を含め歴史学者たちは過去の人びととの「対話」を「楽しい」と思うからこそ、史資料の山に埋もれて研究するのです。大学は「知的営為を楽しむ場」です。どのような分野であれ、みなさんにもこの知的興奮を味わってほしいと強く願います。



プロフィール
人間環境学部准教授
宮川 卓也（みやがわたくや）
ソウル大学校
自然科学大学院
科学史科学哲学協同課程博士課程修了 Ph.D
専門分野：科学史、科学技術社会論
主要研究テーマ：近代日本の災害科学・気象学、近代の暦と社会

ゼミ訪問



取材担当：学生広報スタッフ

丸原 華夏(まるはら はな)さん
国際コミュニティ学部地域行政学科3年
(山口県・精華学園高校出身)



法学部法律学科 山田ゼミ

テーマ『会話を通じて民事裁判手続について理解を深める』

今回のゼミ

今回は、法学部の山田明美准教授のゼミを訪問しました。山田先生は、法学部の中でも民事手続法を専門とされており、ゼミは「民事裁判手続」をテーマとして学生が研究を進めています。主に、判例や事例問題などを題材に、教員・ゼミ生同士の多方向の議論を通じて民事訴訟制度やその手続原則について理解を深め、紛争の法的処理手続や解決方法を学びます。報告担当者が担当判例について調べたことについて報告し、他の学生が分からない部分や疑問を質問し、研究を深めているそうです。今回のゼミでは、前半は前回発表を行ったグループの質問回答、後半は事例をもとにグループ発表が行われました。



法の理解・判断力を磨く

事例をもとにした発表では、遺言の有効性についてある裁判事例が取り上げられており、その事例について下級審の判例や民事訴訟法、先行研究からそれが正しい判断であったのかを分析していました。複数の、それも長文の資料を使用して検討を行っており、法の正しい理解や判断力が磨き上げられる学びであると感じました。

山田先生はこのようなゼミでの取り組みから、「紛争予防の思考や法的問題発見能力・紛争解決能力を身に付け、リーガルマインドをもった賢い生活者になってもらいたい」とおっしゃっていました。



会話を通じて理解を深める

今回、ゼミ訪問をさせていただいて私が感じたことは、学生同士が互いに高め合う環境がつけられているということです。ひとりでは理解しきれなかった部分を教えあったり、質問を通じて学びを確かなものにしていったりと、先生と学生によって学問を深められる良い空間が出来上がっていると感じました。

民事訴訟法は私たちが生活していく上で、問題が発生した際に重要な働きをしてくれます。普段、法律領域を専門としない私にとって理解に時間がかかる部分もありましたが、学生の発表を通じて新たな知識を身につけることができました。一人一人が一つの題材に対して真剣に考え、会話を通じて互いに理解を深めていく素敵なゼミでした。

ゼミ生の声



藤村 侑香(ふじむら ゆうか)さん
法学部法律学科3年(山口県立山口中央高校出身)

ゼミを選んだ理由は2つあります。一つは、民事訴訟法を学びたいと思っていたこと。もう一つは、山田先生の学生を気にかけてくれる人柄に惹かれ、先生と学びたいと思ったからです。ゼミでは、テーマごとに判例の内容・法の解釈を理解し、その理解から自分達の解釈を発表しています。分析を進める上でプロの解釈から自分達の解釈を行う点や、芋づる式に判例が出てくるため分析材料が多い点が大変ですが、すべてを分析し、テーマについて調べた際にはとても楽しいと感じます。

修太

SHU-DAI-BITO



硬式野球部でデータ班を立ち上げ！ データ解析でチーム力向上へ

西村 宏太(にしむら こうた)さん
人間環境学部人間環境学科4年(広島県・広島工業大学高校出身)

硬式野球部にデータ班を立ち上げる。大学からの援助金で購入した最新機器「ラプソード」やアプリなどを活用し、チームのパフォーマンス向上を目的にデータ分析でチームに貢献。チームの目標であるリーグ優勝をめざして活動。



最新機器ラプソードを使った分析

活用して「広島六大学を制覇して、全国で勝つ」というチームの目標達成をめざしています。

投手であればボールの回転数や変化量、打者であれば打球速度や軌道などを分析・解析し、選手の特徴を可視化し、練習に反映しレベルアップに活用しています。練習以外にも公式戦や練習試合などで相手チームの投手の配球や、打者の打球報告などのデータを蓄積して解析します。試合前にこれらの情報を共有することで、戦略に活用できるようになりました。

データ班は、秋リーグ時3名と人数は多くなかったため、無駄なく効率よく活動することを心がけ、事前にしっかり話し合い、方針を決めてから行動することを意識していました。また選手へのデータ共有の方法や資料の分かりやすさなどにも心がけていました。

活動で印象的だったことはありますか

データ班は自分たちでゼロから立ちあげたので、形になるまでが大変でした。全体の方針や使用するツール、分析項目など、いろいろ話し合って少しずつ形にできました。解析についても専門的な知識はなかったので苦労しました。

こうした苦労を重ねる中、公式戦で上

位の相手に勝利した時、試合後に選手たちがデータ班にウイニングボールを渡してくれました。その時、自分たちがやってきたことがチームの力になれたと実感し、やりがいを感じました。

また、少しずつ選手から質問やアドバイスを求められることも増え、必要とされていると感じています。大変なこともありますが、チームメイトやマネージャー、監督のサポートもあって満足度のいく活動ができ、本当に感謝しています。

今後への思いとメッセージをお願いします

今は後輩に引き継ぎをしていますが、「データ班が何十年も受け継がれるように、土台作りをしていこう」と話して活動してきたので、それぞれの代で工夫して受け継がれることを期待しています。そして、データ量が増え、より詳細なデータ分析・解析ができるようになることで個人・チームのレベルアップに役立てて欲しいと思います。

自身の目標は、行動力のある人になることです。硬式野球部では、データ班を作りたいと思い立ち、後悔はしなくなかったので思い切って行動しました。行動に移すことで、新しい発見や成長に繋がることを知ることができました。皆さんもぜひ、自分がしたいと思ったことを積極的に行動に移してみてください。



ウイニングボールを選手からデータ班に



収集したデータを分析・解析

卒業生からの便り

Message from Graduate

株式会社JALスカイ
国際線
旅客サービス部門

高橋 佑菜(たかはし ゆな)さん
商学部商学科
2019年3月卒業
(広島県・呉青山高校出身)



英語力と積極性を高めた4年間

広島修道大学での4年間は、英語力の向上と積極性を高めることを目標にしていました。1年生の終盤にアリゾナ州立大学へ約1カ月の短期留学をしたのですが、言いたいことや自分の意見を英語で話せなかったため進んで発表ができず、自身の英語力の低さと積極性に欠けていることを痛感しました。第一志望の大学に落ち、後ろ向きだった私ですが、この経験をきっかけに自分からもっと成長したいと思うようになりました。

そのような自分を変えたいという思いから、国際色豊かで積極的なゼミ生が多いと評判の新本先生のゼミナールに所属しました。ゼミナールでは中国ビジネスについて学び、SDGsビジネスの提案や、中国の経済社会事情の調査を行い、現地の課題解決に向けて広島の企業がビジネスでどう貢献できるかの議論などもしました。また、新本ゼミナール主催で行った学生と社会人総勢70名程度の異業種交流会に参加することで毎回多くの先輩方と交流でき、就職活動前に自身の選択の幅を広げる機会となりました。ゼミナールの同級生にも、多種多様な機会に挑戦している人が多く、みんなの話を聞くたびに毎回刺激を受けていました。

所属していたアイセックという他大学との合同サークルでは、主に海外インターンシップの運営を行い、少しでも興味ある



留学中の写真(高橋さん:下段右端)

ることには意欲的に取り組んでいました。

大学時代を振り返ってみると、新本先生やゼミナール・サークルの同級生をはじめとした素敵な方々との出会いに恵まれた4年間でした。

空港グランドスタッフとして空の旅を支える

現在は空港グランドスタッフとして、羽田空港でのカウンター業務、トラフィック業務、受託航空会社業務の3つを主に行っています。カウンター業務は、チェックイン手続きなど以外にもお客さまとの会話から得た情報をさまざまな部署に引き継ぎ、快適な空の旅を過ごすサポートをすることも大切な業務の一つです。特にコロナ禍の渡航では入国できるかを不安に感じる

お客さまが多く、入国にあたり申請を一緒にお手伝いさせていただきます。トラフィック業務では、出発時、関係各所と連携し飛行機が安全にかつ定時に出発できるよう、チームで全力を尽くしています。また、到着後にお手伝いが必要なお客さまのご案内やスムーズな対応のために、航行中の機内からメッセージを受け取り、準備を行います。受託航空会社業務ではアメリカン航空の地上支援作業をJAL便と同様に行っています。

新入社員の頃は特に規程の確認に時間がかかったり、お客さまからの質問に答えられないことが多く、自身の不甲斐なさに落ち込む毎日でした。その失敗を次に活かせる機会と捉え準備をしていくのはもちろんのこと、同期と事例を共有し合うことで次回同じような場面に遭遇したときに適切な対応ができるよう、自ら課題を見つけて解決できるように努めました。これは、在学時代に培った積極性が生かしているのではないかと考えています。

入社4年目を迎えた現在では、その甲斐あって少しずつではありますがスムーズに業務が出来つつあります。また、新入社員のOJTを担当することも増え、後輩への指導も実施しています。



実践的な英語力を身に付ける

これからの目標として、業務が機械化されていくなかで、これまで以上にお客さまとのタッチポイント(接点)を大切に、“JALらしい”温かいおもてなしや、お客さまに寄り添ったサービスを空港で提供していきたいと考えています。また、英語に関して全体の底上げを図りたいとも思っています。大学時代の英語の勉強は、TOEICでの高得点をめざして文法やリスニングをメインに行っていました。現在の仕事では正しい文法だけでなく、コミュニケーション力も求められていると感じます。スピーキングにはあまり自信がないので、日々勉強を続け、英語を普段使われないお客さまにとっても、理解しやすかつ丁寧に対応できるようにしていきたいです。



修大生へのメッセージ

コロナ禍で始まった学生生活は思い描いていたものとは違ったかもしれませんが、少しずつ日常生活を取り戻しつつあるのではないのでしょうか。そのような中でも、積極的に興味のあることややりたいことに取り組み、そこでの出会いを大切にすることで、自身のぶれない“軸”ができあがっていくと思います。ぜひ自分らしい、自分にしかできない4年間を謳歌してください。キラキラと輝く修大生とお会いできるのを楽しみにしています!

Topics Hiroshima Shudo University

Topics 1 人間環境学部開設20周年記念事業を開催しました(10/8)

10月8日、人間環境学部開設20周年記念事業として、記念シンポジウムとジビエ料理の体験試食会を開催し、学生、教職員、卒業生など合わせて115名が参加しました。

人間環境学部は、2002年4月に創設され、環境に関わる人文・社会・自然科学の幅広い分野を総合的に学ぶとともに、実際にフィールドに出向き、実践的な経験を積むことで専門性を磨いています。昨年度までに2,412名の卒業生を輩出しました。

記念シンポジウムでは、「人間環境学部の現在・過去・未来」のテーマのもと、シンポジストとして本学名誉教授の森嶋 彰 氏、時政 勲 氏と卒業生の馬場田 真一 氏(一般財団法人 広島県環境保健協会)、桐原 聡史 氏(ニベア花王株式会社)、井上 瑞穂 氏(公益財団法人日本野鳥の会)にご参加いただきました。



シンポジウム前半では、名誉教授から、学部開設の経緯や将来期待する人間環境学部像を、卒業生の方から、人間環境学部の学びが社会に出て活かされていることなどをお話いただきました。

後半は、学生からの各シンポジストへ「人間環境学部で学び、よかったこと」、「大学生のうちにしておいたほうが良いこと、しておけばよかったこと」、「将来、環境に関わる仕事がしたいがどのような行動をおこせばいいか」などの質問があり、お答えいただきました。

シンポジウム終了後には、現代の社会問題を身近に感じていただくため、東広島ジビエセンター株式会社よりジビエ肉をご提供いただき、感染症対策を徹底したうえでジビエ料理の体験試食会も実施しました。

本記念イベントには、人間環境学部元教員や1期生の方なども集い、当時の学びや学部のこれまでのあゆみに思いを馳せられました。



※新型コロナウイルス感染症対策のため、在学生を中心に人数を制限して開催しました。

Topics 2 JA広島市から広島県産「パックごはん」約10,000個のご寄附をいただきました(12/2)

JA広島市およびJA共済連広島から広島県産あきさかりの「パックごはん」のご寄附をいただき、12月2日に贈呈式を行いました。

新型コロナウイルス感染症や昨今の物価高騰の影響を受けた学生を健康面と経済面の両方から支援するとともに、地産地消を推進するなどの目的に、寄附いただきました。

贈呈式では、JA広島市の代表理事組合長 吉川 清二様より矢野学長に目録を贈呈いただきました。

「パックごはん」を食べた学生からは、「炊きたてみたいで美味しかった」「一人暮らしなので助かりました」などの感想が寄せられました。



Topics 3 人文科学研究科心理学専攻の学生が公認心理師試験に合格しました(8/26)

第5回公認心理師試験において、人文科学研究科心理学専攻臨床心理学領域の学生1名が受験し、合格しました。

日本初の心理職の国家資格である公認心理師は、2017年に施行された国家資格です。

本学では、2017年度より健康科学部心理学科に心理臨床コース、2018年度より人文科学研究科心理学専攻に臨床心理学領域を設置し、学部と大学院の所定の単位を修得し、修了す

ることで、公認心理師の受験資格を得ることができます。今回合格した学生は、大学院入学前の実務経験から受験資格を得て受験しました。

これまでに本学から受験した修了生の合格率は100%を誇ります。

今後は、保健医療、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働などの多様な心理臨床分野での活躍が期待されます。

1 修大生のための地域活動ワークショップを実施(11/24)



11月24日、協創館(8号館)ひろみらスタジオにて「修大生のための地域活動ワークショップ」を開催しました。今回の講習会は、ボランティア活動や地域つながるプロジェクト活動に参加した経験のある先輩学生とさまざまな地域活動に挑戦したい学生がグループを作り、外部団体から相談のあった地域課題の解決方法を探るワークショップを行いました。課題テーマは当日発表され、各グループでディスカッションをしながら問題点、課題点を洗い出し、それに対する解決策などのアイデアを出し合い、後日外部団体へフィードバックしました。



参加した学生からは、「自分の発想になかった他人の考えが聞けたことが印象に残った。自分一人の頭では限界があると改めて知ることができた。今回のように複数で集まり、自由に発言できる雰囲気をつくるのが、多様性のあるアイデアを出すには必要なのだと感じた。」といった感想が寄せられました。

2 第1回広島県大学生地域連携活動発表会に参加(11/19)

11月19日、県内12大学が集結し、「第1回広島県大学生地域連携活動発表会」*が県立広島大学で開催され、本学から地域つながるプロジェクト「防災意識を高めるプロジェクト」の学生3名が発表者として参加しました。同プロジェクトは、防災の視点から課題の調査や発掘をし、学生や高齢者の「防災意識を高めること」を目的として、安佐南区大塚地区と連携し2021年度から継続して活動しています。

発表会では2年間にわたり実施した「防災イベント」の取り組みや、SNSを使用して防災啓発を行っていることなどの紹介を行いました。

発表会終了後の交流会では、他大学の取り組みについて直接質問や情報交換をすることで自分たちの活動の振り返りを行いました。



*「広島県大学生地域連携活動発表会」
 学生の多様な地域貢献活動の発表会(県立広島大学主催)

3 シャレオ大学生コンサートに吹奏楽団と混声合唱団が出演(12/4)

12月4日、教育ネットワーク中国主催の「大学競宴!シャレオ大学生コンサート」がシャレオ中央広場で行われました。2020、2021年の2年間は新型コロナウイルス感染症の影響で、動画配信のみ行いましたが、3年ぶりにシャレオ中央広場での開催となりました。

今年度は9大学・短期大学が参加し、本学からは吹奏楽団がフレキシブル8重奏で「ていーちていーる〜沖縄民謡による〜」、サクソ4重奏「クリスマスソングメドレー」を演奏、混声合唱団

が「ゴールデンタイムラバー」、「眠り姫」、「花束」をアカペラで合唱し、多くの方々から温かい拍手をいただきました。

学生一人ひとりにとっても、日ごろの練習の成果を披露する貴重な機会となりました。



4 2023年度入学予定者対象入学準備学習プログラム(第1回キャンパス学習)を実施

入学準備学習は、総合型選抜・学校推薦型選抜〔公募(専願)・指定校・附属校(専願)]で合格した高校生が、模擬授業などに参加したり、期間中に指定のオンデマンドプログラムや通信課題に取り組んだりするプログラムです。

12月18日には、第1回キャンパス学習として3年振りの対面

プログラムと、昨年度に続いて同時双方向プログラムが行われ、4月の入学に向けた準備が始まりました。

(12/15~12/21にオンデマンドプログラムのみを実施した学科もあります。)

3月には、第2回キャンパス学習を実施する予定です。

5 公務員合格体験報告会を開催(10/31)

10月31日、「公務員合格体験報告会」を開催し、公務員を志望する学生72名が参加しました。

体験報告会では、今年度の公務員試験に合格した延べ99名(2022年10月31日時点・教員採用試験合格者を除く)のうち5名が登壇し、公務員試験受験までの経緯や進路決定先の志望理由、具体的な勉強方法などについて発表しました。その後、座談会形式で実施した質問会では参加学生からの相談や質問に丁寧に答える登壇学生の姿がありました。

参加者からのアンケートでは「先輩方のお話を聞くことで就活や試験をより身近に感じて、モチベーションがあがり



ました。」といった感想が寄せられ、大変満足と回答した学生の割合が7割を超える結果となりました。次年度の公務員試験に向け、意識を高めることができました。



6 業界・企業研究セミナーを開催(11/28 ~ 12/23)



11月28日から12月23日のうち15日間、全学年を対象とした業界・企業研究セミナーを開催しました。各業界を代表する企業・団体の採用担当者から、各業界を取り巻く現状や企業の紹介などを説明いただき、延べ約500名の学生が参加しました。学生は、企業・団体の採用担当者の説明を熱心に聞き、積極的に質問するなど情報を集めることで世の中の仕事について理解を深め、卒業後の進路選択について考えるきっかけとなりました。

7 卒業生から学ぶ職種研究セミナーを開催(11/21 ~ 11/25)

11月21日から25日のうち4日間、「卒業生から学ぶ職種研究セミナー」を開催し、「営業職」、「警察官」、「システムエンジニア」、「球団職員」の異なる4職種の4名の本学卒業生にご講演いただき、延べ167名の学生が参加しました。卒業生からは、それぞれのキャリアや「職種」についてご講演いただきました。参加した学生にとっては、就職活動における職種研究や、将来のキャリアを考える貴重な機会となりました。



8 留学生のための就職ガイダンスを実施(11/8)

11月8日、協創館(8号館)1階 iCafeにて留学生を対象とした就職ガイダンスを実施しました。このガイダンスでは就職情報会社より講師をお招きし、留学生の就職環境や日本の就職活動の特徴、今後の活動スケジュールやこれから準備すべきこ

となどをご説明いただきました。

参加した留学生は、メモを取りながら真剣な表情でガイダンスに臨んでいました。

9 観光庁主催 現役通訳案内士による講演会を開催(12/14)



12月14日、「観光庁主催 現役通訳案内士による講演会」を開催し、学生・教職員約30名が参加しました。この講演会は全国約30大学で開催されており、中国地方では唯一本学での開催でした。

全国通訳案内士の国家資格を持つ本学の卒業生、上田美紀さんを講師にお迎えし、現役通訳案内士としての一日の様子や、英語でのガイド実例など実際のガイドの仕事をご紹介いただきました。通訳案内士は、民間外交官として、外国と日本のかけ橋となるという貴重なお話など、現役通訳案内士の方から、直接話を聞くことができる貴重な機会となりました。

10 Book Hunting 2022を開催(10/3～28)

10月3日～28日の期間、「Book Hunting(ブックハンティング)2022」を実施しました。ブックハンティングは、学生・教職員が選書する年に一度のイベントです。今年度は参加者の制限をしないブースでの選書を3年ぶりに開催しました。また、昨年度に引き続きスマートフォン等を使って電子書籍を選書する「オンライン方式」も実施しました。

選書された898冊の図書は、12月1日から図書館2階の展示コーナーに展示しています。電子書籍は103冊が選書され、展示された2次元コードを読み取って、簡単にアクセスすることが可能です。



11 性感染症講演会を開催(11/24)



11月24日、「性感染症講演会」を開催し、各サークルと各学部の厚生局員約80名が参加しました。本講演会は、健康教育の一環として学友会厚生局と保健室の共催で開催し、20代の性感染症として近年梅毒の感染者数が上昇していることを受け、性感染症に関する正しい知識を持つことによる予防啓発のために行いました。

講演は、安佐南区役所地域支えあい課から、城間紀之医師をお招きし、エイズや梅毒、子宮頸がん、性器クラミジア感染症についての説明、避妊具の使用およびワクチンによる予防、検査による早期発見・早期治療が大切であることなど、性感染症の予防などについてわかりやすくお話いただきました。

各サークルの代表者は、講演会后、講演の内容を各サークル内で共有します。

12 学友会主催のクリーンフェスタを実施(11/24)

11月24日、学友会主催のクリーンフェスタを実施しました。学友会文化局・書記局所属の各サークルから代表1名計37名が参加し、2グループに分かれ、ハーモニーロードから正門前のアストラムライン広域公園前駅周辺と、本学から五月が丘団地に抜ける階段から南口付近の道路の清掃を行いました。学生たちは清掃活動を通して、美化意識の徹底・向上のきっかけとなることを目的の一つとして、学友会を中心に取り組んでいます。



13 サークル研修会を開催(12/10)



12月10日、サークル研修会を開催し、学生やサークル指導者・顧問の34名が参加しました。

包括的連携協定を結んでいるミズノ株式会社の講師による、集団活動に於けるパフォーマンスアップを目的とした「チームビルディング」研修、および健康促進を目的とした「椅子を使用したストレッチ&簡単エクササイズ+脳トレーニング」研修を行いました。

参加者からは「作業を通して意見を伝え、お互いの考え方を理解し、コミュニケーションをとることの大切さを学べた。」といった感想が寄せられました。

14 「お好みワイドひろしま」を本学から生中継(11/14)

11月14日、NHK広島「お好みワイドひろしま」の生中継を本学協創館(8号館)地下1階ロビーで実施しました。この放送は、「お好みキャラバン」という、広島市内の各地域に出張スタジオを設置して生中継するという企画で、安佐南区・安佐北区の大学の取り組みを紹介する内容で行われました。

本学を含む4大学の学生が出演し、取り組みを紹介しました。本学からは地域つながるプロジェクトの「防災意識を高めるプロジェクト」のメンバー13人のうち、リーダーを含む3名が出演し、防災イベントの取り組みや防災スリッパなどの紹介を行いました。



15 矢野学長ラジオ出演(9/12・19、11/7、12/4・11・18・25)

9月12日、19日、11月7日、12月4日、11日、18日、25日に、矢野学長がラジオに出演しました。11月4日の「ラジオでリモート同窓会～Wonder広島修道大学～」(RCCほか)は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった同窓大会の代わりとして、中四国9県8局に生放送されました。学長のほか、同窓会の松井会長や

本学学生2名などが出演し、本学の昔と今を発信しました。また、9月12日、19日は、FMちゅーピー「節子の部屋」に、12月4日、11日、18日、25日は、広島エフエムの「広響デジマサロン」に出演し、本学の取り組みや歴史、矢野学長のこれまでの研究や人生についてお話しされました。



「ラジオでリモート同窓会～Wonder広島修道大学～」



「節子の部屋」

上田流茶道愛好会



茶道から学ぶ和の心

私たち上田流茶道愛好会は、週1回水曜日に活動しています。茶道と聞くと堅苦しいイメージを持つ方もいるかもしれませんがそんなことはありません。それは茶道で行う動作が日々の動作に似ている部分もあるからです。

部員のほとんどが大学で初めて茶道に勤しんでいます。毎回の活動には二人の講師の先生をお招きしているため、ほとんどが初心者という中でも一人一人が日々確実に精進しています。また茶道以外にも、親睦を深める目的でレクリエーションなども行っています。

今後の目標は部員一人一人が成長し、皆様に楽しんでいただけるようなお茶会を開くことです。お茶会を開いた際はぜひお越しください。

拳法部



歴史を引き継ぎ、武道を学ぶ

私たち拳法部は「日本傳少林寺流空手道錬和館」という防具付き空手団体に属する部です。現在部員は8人で、週2日の練習日を設け、練習を通して部員同士仲良く活動しています。私たちの目標は、日々の稽古の結果を試合で発揮すること、大学から始めた部員は4年間で黒帯を取得することです。当部は50年以上の歴史があり、師範やOBOGの方々に指導していただきながら練習に励んでいます。

また、当部は武道を通じた人格形成をめざしています。上下関係や礼儀を学びながら、人としても成長することを重んじています。

昨年10月に福岡で開催された全国大会には2名が出場することができました。来年は部員全員が出場できるように頑張ります。

応援のほどよろしくお祈いします。

準硬式野球部



大学ならではの楽しい野球を!!

私たち準硬式野球部は、現在選手37名、マネージャー8名の計45名で活動しています。

準硬式野球のルールは硬式や軟式と同じですが使用するボールが異なります。外側は軟式ボールと同じゴムできていて、中身は硬式ボールのような糸巻きしたコルクが詰まっています。硬式ボールより「ボールが飛ばない」ため、僅差のゲームが多くチャンスをいかにものにできるか、どれだけエラーを少なくできるかが求められます。

昨年は2部の春季、秋季リーグともに優勝しました。現在は、4月に行われる春季大会で1部に上がり、全国大会に出場するという目標を立てて日々練習しています。応援の程よろしくお祈いします。

探検の会



探検の会って...?

探検の会は毎週金曜日に活動を行なっています。

活動内容はスポーツセンターでの体力づくり、学内の教室での交流会、公民館での料理会など、幅広く活動しています。長期休暇には川でラフティングを行ったり、洞窟探検合宿に行ったりと探検の会ならではの魅力的な企画が沢山あります。探検の会は部員同士の交流が深く、毎週の活動だけでなく普段からも交流があり、和気あいあいとした居心地の良いサークルとなっています。

新型コロナウイルスの影響で、洞窟探検合宿が実施できないなど、活動の範囲が狭まっている現状ですが、こんな時期だからこそより一層日々の活動を大事にし、今後も部員との交流を深め、活動していこうと思います。

主な試合・戦績

サークル名	大会名	最終成績	
空手道部	第66回全日本大学空手道選手権大会	男子・団体組手 男子・団体形	第1ラウンド 3回戦
弓道部	第68回中四国学生弓道選手権大会	男女団体戦 男女個人戦 男子個人戦	予選 予選 決勝進出 梶浦 大輝
拳法部	第8回防具付全日本空手道選手権大会	一般男子重量級 一般男子軽量級組手試合	1回戦 2回戦 杉本 匠海 竹内 悠真
準硬式野球部	中国地区大学準硬式野球 秋季リーグ戦		2部 優勝
少林寺拳法部	第56回少林寺拳法全日本学生大会	男子初段の部 単独茶帯の部	予選7位 予選1位(本選9位) 伊藤 大貴、二見 大輝 松村 多恵
水泳部	第20回中国四国学生秋季水泳記録会	200mバタフライ 100mバタフライ 200m個人メドレー	優勝 3位 3位 平松 直也 平松 直也 三好 達也
スカッシュ部	第41回関西学生スカッシュ選手権大会	男子 女子	ベスト8 ベスト16 3位 ベスト8 ベスト16 藤本 佑人 中尾 創、竹森 大地、村上 吉希 平賀 萌 岩本 向日葵、岡野 侑梨、大村 真穂 大谷 菜摘、丸下 桃果、新村 真菜
	第41回関西学生スカッシュ選手権新人戦大会	男子 女子	2位 3位 ベスト8 ベスト16 ベスト4 ベスト8 ベスト16 泉 篤希 平原 航佑 中常 拓人、中山 敬太 林 大智、塩尻 知広 三宅 遥菜 吉岡 佑菜 服部 宇宙
ソフトボール部(男子)	令和4年度広島県秋季ソフトボール選手権大会 令和4年度広島県学生ソフトテニス 秋季大学対抗戦		準優勝 団体戦 準優勝 住岡田 遼一・馬場 翔永ペア、西田 有汰・平野 翔虎ペア、中島 康夫・中村 元敬ペア 団体戦
軟式庭球部	第68回中国・四国学生ソフトテニス選手権大会	個人戦	準優勝 ベスト8 ベスト16 平野 翔虎・西田 有汰ペア 馬場 翔永・住岡田 遼一ペア
	第72回中国学生ソフトテニス秋季リーグ戦	男子リーグ戦 女子リーグ戦 男子個人選手権 女子個人選手権	1部優勝 1部優勝 優勝 準優勝 ベスト16 ベスト8 西田 有汰 原 薫 黒木 美来 行田 夏菜子
	2022年度 第76回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会 第77回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会 第64回全日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会	男子シングルス選手権 女子シングルス選手権	準優勝 ベスト8
軟式野球部	第38回西日本学生軟式野球選抜大会	個人シングルス	2回戦 西田 有汰 平野 翔虎 住岡田 遼一
	第76回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会 第77回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会 第64回全日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会	男子ダブルス	4回戦 2回戦 西田 有汰・平野 翔虎ペア 石田 悠樹・血田 隼也ペア 藤井 皓輝・實子丸 倅ペア 住岡田 遼一・馬場 翔永ペア 中島 康夫・中村 元敬ペア
		女子ダブルス	2回戦 1回戦 中村 希歩・渡邊 真理ペア 木村 公美・原 薫ペア 細川 さくら・小山 唯ペア 行田 夏菜子・黒木 美来ペア
		団体ダブルス(男子)	3回戦 中島 康夫・中村 元敬ペア 住岡田 遼一・馬場 翔永ペア 西田 有汰・平野 翔虎ペア
		団体ダブルス(女子)	2回戦 木村 公美・原 薫ペア 中村 希歩・渡邊 真理ペア 行田 夏菜子・黒木 美来ペア
バスケットボール部(男子)	第74回全日本大学バスケットボール選手権大会中国地区予選会		準優勝
バドミントン部	第73回全日本学生バドミントン選手権大会	個人賞	男子I部 3P王 藤本 剛
バレーボール部(女子)	2022年度第96回中国大学バレーボールリーグ秋季大会	シングルス	1回戦 日浦 泰樹
ハンドボール部	男子第61回・女子第49回中四国学生ハンドボール選手権春季リーグ戦	チャレンジリーグ	第2位
ヨット部	令和4年度広島県会長杯	男子	1勝4敗(1部リーグ残留)
陸上競技部	第45回中国四国学生陸上競技選手権大会	3位 4位	国枝 恵太ペア ※他校の学生とのペア 銭谷 明莉・重原 陸人ペア
	第66回中国四国学生駅伝競走大会	男子400h 男子4×400mR 女子400m 男子1500m 男子3000mSC 女子1500m 女子5000m 男子走り幅跳び	8位 8位 6位 5位 7位 5位 2位 8位 山田 和寿 亀井 颯太、廣瀬 歩真、佐藤 迅、北川 朔矢 松田 百恵 本光 健裕 竹井 寿明 波賀 萌菜 波賀 萌菜 坂田 陽貴

サークル活動スケジュール

サークルの大会・イベントなどの活動スケジュールを大学WEBサイトの「クラブ・サークル」ページ内で公開しています。以下のURLにアクセスして「大会・イベントスケジュール」を選択してご覧ください。右の2次元コードからもアクセスできます。
<https://www.shudo-u.ac.jp/lifesupport/club/index.html>



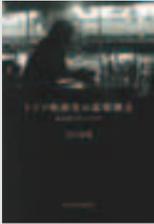
books 刊行物 本学教員の著書を紹介します

紹介文は先生ご自身よりいただいています。

『ドイツ映画史の基礎概念：新世紀のディアスポラ』

古川裕朗 著 九州大学出版会 2022年9月3日 282ページ 3,520円(税込)

現代ドイツ映画史への手引書。21世紀のドイツ映画賞受賞作のうち「移民」「ナチ」「東ドイツ」を扱った作品を同文化理解ではなく異文化理解の立場から紹介・解説する。民族社会主義と国家社会主義の2つの全体主義に翻弄された戦後のドイツ人は精神的故郷を失い、さまよった。果たして〈ドイツ人のディアスポラ〉というモチーフに対して現代のドイツ映画はどう応答したのか？ この点を本書は基礎概念の提示と共に明らかにする。



『講座 これからの食料・農業市場学 第2巻 農政の展開と食料・農業市場』

矢野 泉 ほか著 小野 雅之ほか編 筑波書房 2022年11月28日 216ページ 3,080円(税込)

日本農業市場学会が学会設立30周年事業として、食料・農業市場の変化とその理論的検討等学会での研究成果を5冊の講座本としてまとめたうちの第2巻である。本書は特に食料・農業政策が農業市場や農業経営に与える影響に着目している。矢野は第10章「卸売市場政策の変質と今後の卸売市場」において、卸売市場政策を中心に日本における生鮮食料品流通を取りまく法制度の変質と流通過程への影響及び展望について論じている。



『比較・対照言語研究の新たな展開 ―三層モデルによる広がりや深まり―』

石田 崇 ほか著 廣瀬 幸生 ほか編 開拓社 2022年11月19日 336ページ 4,620円(税込)

本書は、文法と語用論の関係を捉えるために提唱された一般理論「言語使用の三層モデル」をテーマにした論文集の第二弾である。第一弾の『三層モデルでみえてくる言語の機能としくみ』から基本的枠組みは引き継ぎながらも、日英語以外の言語にも分析対象を大きく広げ、かつ、分析自体もより原理的な観点から深めるべく三層モデルによる本格的な考察を行っており、比較・対照言語研究に新たな展開をもたらす必読の書である。



『「縁側」知の生成にむけて―多文化関係学という場の潜在力』

藤 美帆 ほか編著 多文化関係学会編 明石書店 2022年10月15日 296ページ 2,970円(税込)

本書は多文化関係学会の学会創設20周年記念事業の一環として編まれた。社会言語学・文化人類学・心理学・日本語教育学・翻訳学等の各学問分野において、文化や関係はどのように捉えられ、どのように探求されてきたのか。多様なディシプリンをもつ学会員が、分野の境界を超えたからこそ得られる「統合知」の提示に挑んだ。人類が直面している複雑な諸問題に対応するための多文化関係学的な探求の可能性を拓く一冊である。



『原理で学ぶ社会保障法』

山田 晋 ほか編著 衣笠 葉子ほか著 法律文化社 2022年7月15日 272ページ 2,970円(税込)

社会保障制度は頻繁に改正されるが、その多くは理論的根拠に乏しく、単に財政的あるいは政治的理由からである。そのような改正を追いかけても意味はない。本書は社会保障の法原理に固執しそこから法制度を分析し検討し批判することを通して、社会保障法を学ぶことを意図した教科書である。社会保障の法原理が変わらない限りは、教科書として有効であるはずである。その意味で賞味期限が長い、稀有な教科書である。



『新たな時代の社会保障法』

山田 晋 ほか編 法律文化社 2022年7月30日 316ページ 7,920円(税込)

ドストエフスキーから自分はバトンを受け取り、走りに走り遂に倒れたところで次の走者にバトンを渡すのだと、『死霊』の作者・埴谷雄高は〈精神のリレー〉を語った。学界を牽引してきた河野正輝・九大名誉教授の社会保障法の目的別体系論を、未来にいかに関し展開し発展させることができるのが本書のテーマである。バトンを落とした者、ゾーン・オーバーの者、逆走する者もいて、傘寿祝賀どころではないが沈滞する学会への一撃である。



『地域振興と慈善活動 慈善・寄付は地域を呼び覚ます』

太田 耕史郎 著 勁草書房 2022年9月20日 239ページ 3,080円(税込)

米国では起業家による慈善(・寄付)活動が盛んであり、地域振興がその主要な対象の1つとされる。本書はA.カーネギー、J.ロックフェラーを始めとした起業家の、またかつて鉄鋼業などで大いに繁栄したピッツバーグなどでの慈善活動を概観し、次いで政府に加えて起業家が慈善活動の形で社会サービスを提供することの利点を検討する。最後に、慈善活動が活発とは言えないわが国において当該活動を促進させる方策を提言する。



『通る起案はここが違う!公務員の文書起案のルール』

澤 俊晴 著 学陽書房 2022年9月21日 152ページ 2,090円(税込)

本書は、学術書ではなく、全国280万の地方公務員向けに、公文書の基本、書き方、用字用語、書式などについて図表を活用し解説したものである。主たる読者は、若手職員を想定している。近年、公文書を巡る不祥事が多発している。その背景の一つとして、公文書の取扱いや処理方法といった基礎的な知識・ノウハウが自治体現場から急速に失われているということがあるのではないかと筆者は非常に憂慮している。それが執筆の動機である。



Event Guide

EVENT CALENDAR

(1/12現在)

2 February

- 2/ 1(水)～3(金) 図書館休館
- 2/ 6(月)～2/24(金) アリゾナセミナー(予定)
- 2/ 7(火)～3/17(金) ニューージーランドセミナー(短期)(予定)
- 2/13(月)～15(水) 後期追試験(学部)
- 2/16(木) 長期貸出図書返却日(卒業・修了年次生)卒業・修了年次生成績発表
- 2/17(金) 地域つながるプロジェクト2022・地域つながるスタートアッププロジェクト2022活動報告会
- 2/17(金)～24(金) 図書館展示ホールにポスター展示
- 2/20(月)～22(水)・24(金) 学内合同企業説明会
- 2/24(金) 後期追試験成績発表(卒業年次生)
- 2/27(月)・28(火) Hiroshima Tour Guide Program
- 2/28(火) 図書館整理休館日

3 March

- 3/ 6(月) 卒業年次生以外成績発表(WEB)
- 3/ 7(火) 第2回入学準備学習プログラム(キャンパス学習)
- 3/ 9(木) 卒業・修了認定者発表
- 3/13(月)～17(金) 修大生のための数学セミナー
- 3/15(水) 駐車場・駐輪場及び通学定期券利用申請者手続開始 >>> GUIDE
- 3/22(水) 在学生ガイダンス
- 3/23(木) 学位授与式
- 3/24(金) 日本学生支援機構奨学金新規募集開始(在学生)
- 3/27(月) 新入生ガイダンス等
- 3/31(金) 図書館整理休館日
- 3/31(金)～4/ 5(水) Web履修抽選科目エントリー

4 April

- 4/ 1(土) 入学式、学生センターガイダンス、新入生保証人対象教育懇談会
- 4/ 3(月)～7(金) 新入生ガイダンス・オリエンテーション
- 4/ 4(火)～8(土) 履修申請
- 4/ 5(水)・6(木) 新入生健康診断
- 日本学生支援機構奨学金進学届提出説明会
- 4/ 6(木) 日本学生支援機構奨学金新規応募説明会
- 4/ 7(金) 一人暮らしを始める新入生のための交流会
- 4/10(月) 前期授業開始
- 4/12(水)・17(月)・21(金) 地域つながるプロジェクト2023・地域つながるスタートアッププロジェクト2023募集説明会

- 4/13(木)・14(金) 卒業年次生健康診断
- 4/16(日) 長期貸出図書返却日(新2～4年次生)
- 4/19(水) 一人暮らしの料理教室
- 4/27(木) 日本学生支援機構奨学金新規応募締切
- ※予定は変更になる場合があります。
- ※今後の予定については、WEBサイトなどでご確認ください。

GUIDE

これからの入試日程

一般選抜(後期日程)は、全ての学部・学科・専攻に出願できる併願制です。1回の受験で最大13の学部・学科・専攻に出願できます。

出願はインターネット出願「シューダイレクト」でのみ受け付けます。

学 部

- 2/16(木)～24(金) インターネット出願受付(一般選抜(後期日程)、共通テスト利用選抜(後期日程))
- 2/16(木)～24(金) 編入学・学士入試出願受付(必着)(人文学部・法学部・経済科学部・人間環境学部)
- 3/ 3(金) 一般選抜(後期日程)、編入学・学士入試(人文学部・法学部・経済科学部・人間環境学部)
- 3/ 9(木) 合格発表(一般選抜(後期日程)・共通テスト利用選抜(後期日程)、編入学・学士入試(人文学部・法学部・経済科学部・人間環境学部))

大学院

- 2/ 2(木)～9(木) 出願受付(必着)(第2次募集)
- 2/18(土) 入学試験
- 2/24(金) 合格発表

【問い合わせ先】入学センター TEL 082-830-1100

保健室より

この時期は、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症が流行しやすい時です。日頃から疲れた時や体調不良の時は早めに休養をとるなどの自己管理に加え、外出先から帰ってきた時や食事前の流水での手洗い、うがい、マスクを着用するなどの予防に努めましょう。発熱、咳、鼻水、のどの痛み、腹痛、嘔吐、下痢などの症状がみられる時は早めに医療機関で受診してください。2月、3月の休暇中でもインフルエンザや新型コロナウイルスと診断されたら保健室まで報告してください。

新型コロナウイルスに感染した場合、感染経路の特定など過去の行動について確認する必要があります。普段より日々の体調および行動内容の記録をお願いします。

記録票は本学WEBサイトからダウンロードできます。
※健康診断の詳細は本学WEBサイトにてお知らせします。必ず受診しましょう。

【問い合わせ先】保健室 TEL 082-830-1118

学生センターより

自動車・自転車・自動二輪(バイク・原付)に関して、一定条件を付して許可制度を設けており、学生が学内に乗り入れて駐車場・駐輪する場合は、事前に学生センターに申請し、学長の許可を受けなければなりません。学生の交通マナー向上のため、講習の受講を義務づけており、所定の手続きを行った学生に駐車許可証・駐輪ステッカーを発行しています。手続き方法については教学システム等を確認してください。駐車許可証または駐輪ステッカーを取得して、学内駐車場・駐輪場を利用してください。
※許可証・ステッカーは年度毎に更新が必要です。4月からも引き続き通学に使用する場合、忘れずに更新しましょう。

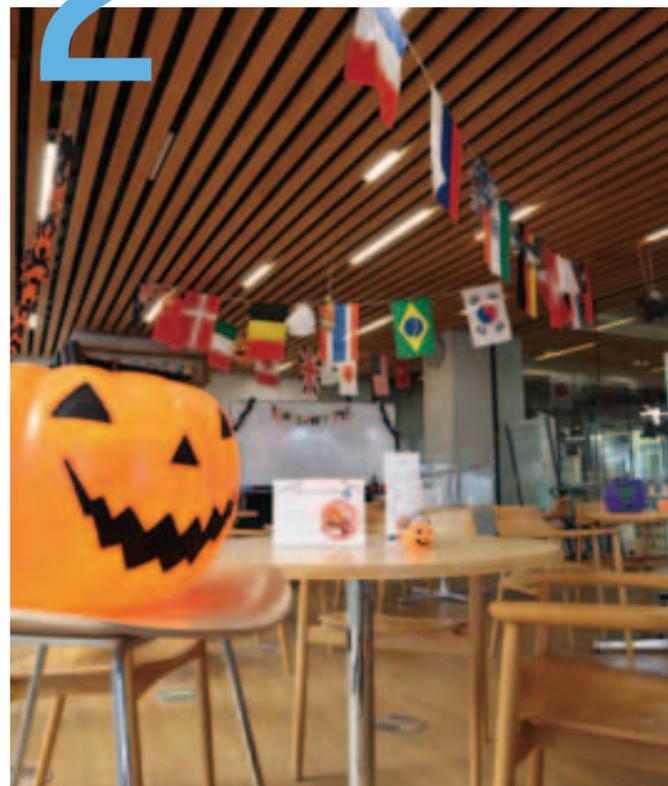
【問い合わせ先】学生センター TEL 082-830-1117

1



3

2



❶ 第62回修大祭を開催(11/3)

11月3日、第62回修大祭を開催しました。今回のテーマは「想～心とココロは密にして～」です。メイン会場であるプレイグラウンドでは、縁日の遊戯をイメージした屋台を学生たちが出店しました。メインステージでは、ピンゴ大会やサークルによる演奏、ダンスパフォーマンスなどでステージを盛り上げました。夜には、キャンドルとイルミネーションが点灯されキャンパス内を彩りました。

❷ iCafeハロウィン(10/25～)

iCafeピア学生が協創館(8号館)1階「iCafe」内をハロウィン仕様に装飾しました。

❸ 修大スポーツチャンパーニバル開催(11/18)

学友会体育局主催の修大スポーツチャンパーニバルを開催し、バレーボールやバドミントン、大縄跳びなどを楽しみました。

アンケートにご協力ください。

「広報誌TRUTH」および「本学広報」について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

いただいたアンケート内容は今後の誌面作りおよび広報活動に活用させていただきます。

また、アンケートでプレゼントを希望された方の中から、抽選で修大オリジナルグッズをプレゼントします。

アンケートは以下のURLもしくは2次元コードからWEB上にてご回答ください。

<https://ws.formzu.net/dist/S59080667/>



PRESENT 修大オリジナル テープのり<ドットライナー>

計20名



抽選で20名様に『修大オリジナル テープのり<ドットライナー>』*をプレゼント!

応募締切:3月16日(木)

※当選者にはメールでご連絡します。
※コクヨテープのり<ドットライナー>本体寸法/W94×D23×H50mm
つめ替えタイプ

📶 広島修道大学公式SNS

各種SNSで修大の情報を発信しています。ぜひフォローをお願いします!

